

新規・継続別	新規	分野	ため池の補強等	事業番号	3	事業名	県営ため池等整備(特定農業用管水路)			
市町村名	松本市・塩尻市		(ふりがな) 箇所名	さきが なんと 笹賀南部			事業年度 (完了年度は見込み)	H23年度 ~ H26年度		
事業概要	計画概要 (延長・巾員・面積・工種など)	管水路改修 L = 1,950m				H22年度末事業進捗率		0%		
	H23年度以降実施内容	同上				本工事費ベース		0%		
	H23年度実施内容	測量設計 1式				用地補償費ベース		-		
	年度	全体事業費	H21年度まで	H22年度	H23年度要求額	H23年度以降残				
	事業費計(千円)	160,000	0	0	15,000	160,000				
	要内訳	財源	国庫支出金	80,000	0	0	7,500	80,000		
その他		24,000	0	0	2,250	24,000				
県債		50,000	0	0	4,000	50,000				
一般財源		6,000	0	0	1,250	6,000				
費用対効果(B/C)		1.25	評価項目の合計				A	85	A	85
事業周辺環境	事業に至る歴史的経緯・社会的背景	本施設は築造から30年余が経過し老朽化が著しいため、破管、バルブ等からの漏水が発生し、圃場及び農作物への被害が生じており、維持管理経費が高み農業経営を圧迫している。また、本地区の一部では昭和30年代に施工された石綿管を使用しており、破管等により人体への影響が危惧されている。このような状況から、早急に施設の改修を行い、維持管理費の節減を図り、農業経営の安定を図る必要がある。								
	地域からの要望経緯	破管等による圃場、農作物への被害が生じ、維持管理費が増加傾向にある。そこで、平成20年度から施設管理を管理する中信平右岸土地改良区や地元水利組合が更新整備についての検討を行ってきた。受益者の意向調査を行い、早急な更新整備が必要として、平成21年2月に中信平右岸土地改良区から松本市・塩尻市へ要望が出されている。								
	事業説明等の経緯	平成20年9月に「更新整備の賛否について」の無記名によるアンケート調査を実施。また、平成21年6月に記名式意向調査を実施するとともに、平成20年から平成21年にかけて役員会、地元有識者も交えた検討会、地元説明会(平成20年8月、平成21年4月、平成22年2月、平成22年6月)等が複数回行なわれている。								
	環境・景観への配慮項目	工事期間中、重機械の振動・騒音・排出ガス対策のため、早朝及び夜間の作業を自粛し、排出ガス対策型の機械を使用する。また、外来植物等の移入を避ける。工事の全てが道路下の埋設管路の更新のため工事後の周囲に対する影響は小さい。								
	他事業・プロジェクトとの関連	平成17年から実施されている国営中信平2期農業水利事業の施設から農業用水を引水しており、一体的に効果を発現することができる。								
	特記事項	特になし。								
地域での合意形成	全員賛成	概ね賛成	過半数賛成	動向不明	その他					
部意見	30年以上前に整備した畑かん施設が老朽化し、一部には石綿管も使用されているため、早急な更新整備が必要である。			政策評価課意見	重要性が高く、必要性、緊急性も認められる。					